試験方法は、JISA1108コンクリートの圧縮強度試験方法で行います。供試体の規定は、JISA1132コンクリートの強度試験用供試体の作り方によります。 規定内の試験結果は、JNLA標章を付した試験証明書(原本1部)にて報告いたします。規定外の試験結果は、標章なしの試験証明書にて報告いたします。

依	(請求先)会社	名							氏名		
頼者	住所〒					TE	TEL FAX				
者	連絡担当者氏名					TE	L	FAX			
	予約年月日			試料搬入	試料搬入予定日			試験希望日			
基				の直径	数量	端面研	軽の要?	5、数量	呼び強度(推	定強度)	
	JISA1108供試体 φ		mm	本	□要(本) □ 否	() N/mm^2		
本	試験までの試料保管方法			試験後の試料				証明書の受領方法			
陆	□ 標準水中 □ 室内気中			□ 不要廃棄 □ メール便							
情	□ 現場水中	一一他		□ 要引き取り □ 要着払い □ 来社 □ 他()		
報	試料搬入 方法	□ 当社扱い宅配業者(送料込みで請求) □ 宅配 □ 持ち込み □ 他									
		集荷希						担当者			
		集荷場						TEL			
	⇒ a fals + s s	集荷住所〒									
証明書記載内容	記載が必要な項目に口にレ印を付してください										
	依頼者名										
	依頼者住所										
	工事名										
	□ 所在地□ 供試体の採取年月日										
	□ 構造物、箇所										
	日本の大場名										
	□ 配合の呼び方		□ N □ H □ BB □ その他								
	□材齢		日 日								
	 養生方法及び養生温度 										
	口性到事項										
	□ 特記事項										
	試験結果に追	皇加できる!	頁目です、	、報告が必要な項目は□にレ印を付して				こください 試験実施後の試料写真			
	□ 3本の試験の平均値 □ 不		確かさの表示			の見掛る	ナの密度	□ 必要 □	一不要		
備	□ 速報(FAX) 発注者:										
	宛先: FAX:	10日付、技第1036号(通知)により、新潟県発注工事において規格値(呼び強度及び発注者から指定された強度等) 試体が発生した場合、発注機関に対して報告することになっているので試験機関は遵守すること。									
考	当社への連絡事項、要望										
1/2	当社使用通信	補 顧客と	の連絡、確	€認事項(連	[絡、確認 [1:			実施者:)	
当社											
使用											
用	武料確認結果: □ 規定内 □ 規定外 契約内容確認結果: □ 実施可 □ 実施不可(ファックス 電話)								7ス 電話)		
注	1試験(3本以内)行当社に確認して								134		
意事	ボンドキャッピンク	グによる試験	は行っていま	ミせん / この	試験日の10:00までに搬入して下さい / アン / この予約内容は、試料確認後に注文書とさ お 湯市江南区曙町2-8-19 は予約書を早めにお送り下さい (㈱プロダクト技研 研究開発部						
項	適合性の表明を 適合性の表明を	7 / ヨ紅収収 要望される場	合は、お問い	. MI	音を平のによ い 	<u> </u>			ブクト技研 研究開発 5-383-0121/FAX 0		
フ	リーダイヤ			AX012			予約者	番号			

当社はISO/IEC17025に基づいて顧客情報の適切な管理を実施しています